2025

2/3

# 月

13:30~16:30 全150名 第200端末

参加 無料

対 象

東北地域の大豆生産者、普及組織、試験研究機関、行政機関、実需者など

内容

- ●情報提供
  - ~農林水産省東北農政局~
- ●大豆実需者からの講演
  - ~株式会社アサヒコ~
- ◆大豆生産における優良事例紹介~株式会社 萩原農園~
- ●大豆収量向上の講演
  - ~東北農林専門職大学~
- ●試験研究機関からの講演
  - ~農研機構東北農業研究センター~

参加方法

- ●ウェブ会議システム( Microsoft Teams )
- ●現地会場[霞城セントラル3階会議室]山形県山形市城南町1丁目1-1(公共交通機関をご利用ください。駐車場ご利用の場合は自己負担となります。)
- \* 会場参加は山形県の方優先とします



お手持ちのパソコンなどで ご参加いただけます

内容の詳細、参加申込み、問合せ先 は 裏面

#### 開催趣旨

東北地域は、作付面積で全国のおよそ4分の1を占める大豆の一大産地である一方、平均収量が30年以上全国平 均を下回り、需要を満たせていない等の課題があります。

そこで、本セミナーでは、大豆生産力の拡大に向け、優良・先進事例の紹介、栽培技術に関する講演、実需者からの 講演により、東北地域における大豆生産者等の意識及び技術力向上を図ります。

## 内容〈プログラム〉

- 開会 13:30
  - 情報提供「大豆をめぐる情勢」東北農政局生産部生産振興課
- 講演「国産大豆に期待すること」 13:35-

株式会社アサヒコ 生産本部生産企画部部長 川瀬 陸 氏

生産企画部購買課課長 山本 武 氏

優良事例紹介「萩原農園の大豆生産について」 14:05-

山形県高畠町 株式会社萩原農園 代表取締役 萩原 拓重 氏

14:50-講演「東北産大豆の収量向上に向けて(仮題)」

東北農林専門職大学農業経営学科 教授 齊藤 邦行 氏

講演「東北向け大豆新品種の開発動向」 15:40-

農研機構東北農業研究センター水田作物品種グループ長補佐 南條 洋平 氏

16:30 閉会

#### 参加申込み 申込期限:令和7年1月22日(水) \*定員に達し次第、参加申込みを締め切ります

会場(霞城セントラル)での参加を希望される方

● 別添の現地会場参加申込書に必要事項をご記入の上、「山形県農林水産部農業技術環境課」にメールまたはファッ クスでお申し込みください。



ynogi@pref.yamagata.jp



023-630-2456

なお、会場での参加は山形県内の方を優先します。 ご参加いただけない場合は令和7年1月27日(月)を目処にメール等でお知らせしますので、予めご了承ください。

#### ウェブ会議システム(Microsoft Teams)での参加を希望される方

- 二次元バーコード(右下)または下記URLの申込みフォームからお申し込みください。 https://www.contactus.maff.go.jp/j/tohoku/form/sinko/daizuseminar R702 web.html
- 申込み後に定員超過でご参加いただけなくなった方には、その旨をメールでお知らせします。
- 令和7年1月27日(月)以降、登録されたメールアドレス宛てに、本セミナー参加用URLを送付します。 当日は、13:15以降に、ご自身のPC等から参加用URLにアクセスしてご参加ください。
- 本セミナーに参加するに当たり、以下の点を遵守してください。
  - ・参加用URLの使用は本人限りとし、転送・公開をしないこと。
  - ・録音、録画をしないこと。

## お問合せ

▼ウェブ参加

東北地域大豆振興協議会事務局(東北農政局 生産部 生産振興課内) 担当│金澤、田口、三戸、◎梅津







令和 年 月 日

山形県農業技術環境課 髙橋 行き

(FAX: 023-630-2456)

(E-mail: ynogi@pref.yamagata.jp)

### 東北大豆セミナー現地会場(霞城セントラル)参加申込書

#### 【報告者】

お住まい又は勤務先の県名:	県
勤務先・所属団体名:	
氏名:	
TEL:	

#### 【参加者】

勤務先・所属団 体の分類	所属部署名	職名	氏 名

※報告者が参加する場合、お手数ですが【参加者】の表にも記載してください。

勤務先・所属団体の分類

1生産者 2農業協同組合関係 3県普及指導組織 4試験研究機関 5行政(3,4を除く) 6加工・流通・販売業者 7農機具、農薬メーカー 8 その他

【申込期限】令和7年1月22日(水)